

独自の放熱技術により業界No.1^{*1}の省エネ LED電球「EVERLEDS」を発売

業界初^{*2}小形電球タイプ、調光器対応タイプをラインアップ

開発の背景

当社は、業界No.1^{*1}の省エネを実現したLED電球「EVERLEDS」(エバーレッズ)を2009年10月21日より発売いたしました。

近年、あかりの省エネ化への関心が高まる中、LED照明の高い環境性能に注目が集まっています。

本製品は、業界No.1^{*1}の省エネと同時に、業界最軽量、最小サイズ^{*3}を実現、更にこれまで電球形蛍光灯では取り替えができなかった器具への適合を大幅に改善した小形電球タイプや、調光器対応タイプを含めた全8品番を発売します。

当社は、本製品により、さらなる省エネ化を実現し、一般電球からの置き替えを加速させてまいります。

主な特長

1) 独自の放熱技術により、業界No.1^{*1}の省エネを実現

<LDA7D-A1> <LDA4D-A1>

LEDパッケージとケースを緊密に接合することで熱伝達を高め、更に製品表面にアルマイト加工処理を施し放熱性を向上させる独自の設計により、LEDパッケージの温度を下げ、業界No.1^{*1}の省エネを実現しました。

- ・一般電球タイプ6.9 W (LDA7D-A1) は、82.6 lm/Wのエネルギー消費効率を実現
- ・一般電球タイプ4.0 W (LDA4D-A1) は、85.0



lm/Wのエネルギー消費効率を実現

また、一般電球60形と比較すると、一般電球タイプ電球色相当(LDA7L-A1)、昼光色相当(LDA7D-A1)は、ダウンライト使用時の直下の明るさにほぼ同等^{*4}、電気代が年間約2000円の節約、ランプ単体においては、30形と比べると年間970円の節約になります。

2) 業界最軽量^{*3}を実現

一般電球から取り替えやすくするために、一般電球タイプは重さ100 g、小形電球タイプは重さ50 gの業界最軽量^{*3}を実現しました。表面ボディ(ケース)の薄肉化により、使用しているアルミニウムを削減し、軽量・省資源を可能にしました。

3) 業界最小サイズ^{*3}や、業界初^{*2}の小形電球タイプをラインアップ

独自の熱解析により、放熱構造(ヒートシンク)を最適化し、業界最小^{*3}のコンパクトサイズを実現しました。あわせて業界初^{*2}の小形電球タイプ(E17口金)もラインアップし、今までサイズの不適合などの理由で使用できなかった器具への装着も大幅に改善しました。また、ホコリがたまりにくいクリーンボディを採用しています。

*1: LDA7D-A1 LED電球一般電球タイプ(ランプ単体で電球40形相当の明るさ)において、82.6 lm/Wのエネルギー消費効率。LDA4D-A1 LED電球一般電球タイプ(ランプ単体で電球30形相当の明るさ)において85.0 lm/Wのエネルギー消費効率。2009年10月21日発売(当社調べ)。

*2: LED電球小形電球タイプ(E17口金)、ランプ単体でミニクリプトン電球25形相当の明るさにおいて。2009年10月21日発売(当社調べ)。

*3: LED電球一般電球タイプにおいて。(外径55 mm×長さ105 mm、質量100 g)。2009年10月21日発売(当社調べ)。

*4: パナソニック電工(株)製LB72630Zでの直下照度の場合。

◆ 詳細URL ◆ <http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn090910-2/jn090910-2.html>

3つのセンサーと制御による新開発「エコナビ」搭載 ルームエアコン「Xシリーズ」を発売

人の動きや部屋の間取り、日当たりまで見分けて省エネ運転

開発の背景

近年、快適な空調はもちろん、省エネへの意識が高まっています。そうした中で、家具などに遮られることなく、効率的に快適な風を届けて欲しいといったニーズがあります。しかしながら、家具の位置やエアコン設置の壁面に、9割の家庭で窓があることなど、高い快適性と省エネを両立するには、居住環境や使用する生活シーンに合わせた運転が必要となっています。(2009年当社調べ)

当社は、独自のハイブリッド熱交換器やコンプレッサーにより業界トップクラス^{*1}の省エネを実現するとともに、センサー技術と制御による新開発「エコナビ」搭載で、省エネ効果を高めたルームエアコン「Xシリーズ」を2009年10月21日より発売いたしました。また、ワイドシャーシで、さらに省エネ性が高い「HXシリーズ」も2009年11月30日より発売いたしました。

当社は、本製品により、省エネと快適性を両立できる新しいエアコンライフを提案してまいります。

主な特長

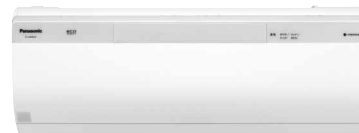
1) 新開発の「エコナビ」搭載で、人・間取り・日当たりまで検知してもっと省エネ^{*2}へ

- ・3つのセンサーと制御で、ムダを見逃さず、自動で省エネ運転。暖房時最大約70%^{*2}の省エネ効果を実現。
 - ・独自の「ハイブリッド熱交換器」と「高効率コンプレッサー」などで、業界トップクラス^{*1}の省エネを実現。
 - ・進化した「気流ロボット」で、風速を暖房時最大約20%アップ^{*3}。
- 2) 「ナノイー」技術で菌^{*4}・ウイルス^{*6}を抑制、さらに部

屋干し臭の抑制^{*7}
と髪の毛のまとまり感
を保つ「美髪効果」
^{*8}を実現

3) 「フィルターお掃除

ロボット^{*10}」と「ナノイー内部除菌^{*11}」でエアコン内も清潔に



*1: 4.0 kWクラス国内家庭用エアコンにおいて。CS-X400C2。期間消費電力量1272 kWh。2009年10月8日現在。

*2: Xシリーズの場合。エアコンの近くにダイニングテーブルなどが配置され、エアコン設置位置から対面の壁の近くの1エリア(遠距離エリア)に人が存在し、その活動量が大(約2 MET(アイロンがけや料理など)で、日射が入っている場合。<CS-X400C2>当社環境試験室(14畳)、外気温25℃、体感温度25℃が得られるように設定、暖房運転時。運転安定時1時間積算消費電力量が、エコナビON&いるとこサーチ風あて(375 Wh)と、エコナビOFF&いるとこサーチOFF(1254 Wh)との比較で最大70%削減(当社条件にて算出、JISに基づき算出された期間消費電力量とは異なります)これは省エネの最大値であり、設置環境、設置状況により効果は異なります。

*3: 当社従来機種CS-X409A2との比較

*4, *5: 試験機関: (財)北里環境科学センター。(注)

*6: ナノイーのウイルスなどを抑制する効果は、45 L容器内での実証結果であり、実空間での感染予防を保証するものではありません。試験依頼先: (財)日本食品分析センター。(注)

*7: 試験機関: 近江オドエアサービス(株)。(注)

*8: 美髪効果は、季節・周囲環境(温度・湿度)、使用時間、個人によって異なります。お部屋を加湿するわけではありません。

*9: 試験機関: パナソニック電工解析センター(株)。(注)

*10: フィルターの掃除は自動で行いますが、ホコリや油汚れが多い環境でご使用する時は取り外して水洗いなどをすることをおすすめします。

*11: 試験機関: (財)日本食品分析センター。(注)

(注): *4, *5, *6, *7, *9, *11の外部機関による試験方法は、下記の詳細URLの【注釈一覧】の 3, 4, 11, 8, 9, 13にてご確認ください。

◆ 詳細URL ◆ <http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn091008-3/jn091008-3.html>